

年  
間

# 生きもの地図をつくらう

小学校3年～ 理科

**File A - 5: 生きものの特徴や性質を知るプログラム >>>>>>>> 自分たちで生き物地図を作ろう**

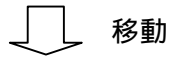
(ねらい) 生き物地図を作ることを通して、生物の細かな特徴や性質の違いについて考えることができるようになる。

前橋市児童文化センター 交通公園・ライオンズの森 (所要時間 30分)

(1) 主な植物や動物の特徴と見分け方のポイントを知る。

【説明】 植物分類のポイント(花、葉、樹皮等)、鳥の分類のポイントなど。

【観察】 ケヤキ、サクラ、ヒマラヤスギ、イチョウ、カラス、オナガ 等



移動

児童文化センター 図書室 (所要時間 1時間)

(2) - A グループで児童文化センターの生きもの地図を作る。(ABの作業を並行して行う)

【話し合い】 情報の整理、特徴の確認、生きものの同定。

【実習】 得られた生物情報を地図にまとめる。



調査・まとめを繰り返す

前橋市児童文化センター 交通公園・ライオンズの森

(2) - B 公園に行き、生きものの特徴や数、位置を確認する。

【実習】 生きもの分類の視点に基づき、実際に調査を行う。



(3) できた地図を全員に紹介する。

【実習】 それぞれの地図を見合った後、わかったことをまとめる。

【講話】 生きものには違いがあること、生きもの地図を作ると、その生きものの性質や変化の様子を知る手がかりになること。

**指導体制** : 指導者 2 名、指導助手数名 **対象人数** : 40 人以下 (1 クラス程度)

**準備** : 白地図、記録用紙、図鑑などの参考図書、筆記用具 等

**留意点** : 5 人程度で班を編成する。

(2) の活動では、実際の調査地点と図書室のそれぞれに指導者がつく。

**プログラムの関連性** :

小学校学習指導要領

理科 第3学年 B 生命・地球

**(1) 昆虫と植物**

身近な昆虫や植物を探したり育てたりして，成長の過程や体のつくりを調べ，それらの成長のきまりや体のつくりについての考えをもつことができるようにする。

ア 昆虫の育ち方には一定の順序があり，成虫の体は頭，胸及び腹からできていること。

イ 植物の育ち方には一定の順序があり，その体は根，茎及び葉からできていること。

**(2) 身近な自然の観察**

身の回りの生物の様子を調べ，生物とその周辺の環境との関係についての考えをもつことができるようにする。

ア 生物は，色，形，大きさなどの姿が違うこと。

イ 生物は，その周辺の環境とかがわって生きていること。